

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--|---------|-------------|
| 事業所番号 | 4090400179 | | |
| 法人名 | 協栄興産 株式会社 | | |
| 事業所名 | ふれあいの家 黄金 グループホーム (2フロアー) | | |
| 所在地 | 〒802-0071 福岡県北九州市小倉北区黄金1丁目9番12号 093-922-5182 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年03月07日 | 評価結果確定日 | 平成26年03月31日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人一人が主役であり、その人生活を支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| |
|--|

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kai.gokensaku.jp/40/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会 | | |
| 所在地 | 福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5番27号 093-582-0294 | | |
| 訪問調査日 | 平成26年03月28日 | | |

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 |
|----|--|---|----|---|---|
| 58 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:25.26.27) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 65 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができて いる (参考項目:9.10.21) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 59 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場 がある (参考項目:20.40) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 66 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2.22) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 60 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らして いる (参考項目:40) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが広がったり深まり、事業所 の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 61 | 利用者は、職員が支援することで生き生き とした表情や姿がみられている (参考項目:38.39) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11.12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出か けている (参考項目:51) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 69 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむ ね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 63 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不 安なく過ごせている (参考項目:32.33) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 70 | 職員から見て、利用者の家族等はサービス におおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 64 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔 軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | |

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+-) + (Enter+-)です。)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業所理念を作成し、理念をもとに目標を作り、意識を持って行動しています。 | | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の行事を調べ、参加できそうなものには積極的に参加できるようプランを作成し交流を図ろうとしています。 | | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 介護相談に来られた方や見学に来られた方が話される内容を真摯に受け止め、良いアドバイスを出来るように努めています。 | | |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月に一度、運営推進会議を開催し、町内会長、地域包括センターの職員、民生委員、利用者に参加して頂き、利用者や施設の状況報告と意見交換を行っています。 | | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議の際、地域包括センターの職員と情報交換を行い、協力関係を築いています。 | | |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 新人研修や内部研修で身体拘束について学び、身体拘束が起こらない様、意識徹底を図っています。また、施設長会議の際にも「身体拘束廃止委員会」を開催し、対策を行っています。 | | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 新人研修や内部研修で虐待について学び、虐待が起こらない様、職員同士で話し合ったり、対象者の身体チェックなどを行っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | 6 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 新人研修や内部研修で権利擁護について学び活かしています。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 利用者や関係者へ不安や疑問点を訪ね、十分に説明を行い、理解・納得してもらえるよう努めています。 | | |
| 10 | 7 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議を定期的開催し、関係者の意見を取り入れて改善に向けて取り組んでいます。 | | |
| 11 | 8 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定期的にミーティングを行い意見や提案を管理者が聞ける様にし、面談などを行うことで対応しています。 | | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 各職員に自己目標を作成してもらい、毎月評価を行い、職員が無理なく向上心を持って働けるように努めています。 | | |
| 13 | 9 | 人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 職員の募集・採用に関して年齢・性別を理由に採用を制限する事はありません。また職員一人一人のスキルや性格を活かせるように配慮しています。 | | |
| 14 | 10 | 人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる | 新人研修などで人権について学び、対象者の人権を尊重するため各職員が考え行動しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 15 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員には研修や勉強会を行い参加できるようにし、資格取得などの講習・研修を受ける場合には、シフトの調整などを行っています。 | | |
| 16 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 法人内の他施設と月に一度の施設長会議や施設を訪問、合同イベントなどを行っています。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 17 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前訪問を行い対象者とのコミュニケーションを図り、安心を確保できるよう努めています。 | | |
| 18 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 事前訪問を行い対象者とのコミュニケーションを図り、遠慮のない関係作りに尽力しています。 | | |
| 19 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 事前訪問を行い対象者とよく話し合い必要なサービスを考え、対応できるよう努めています。 | | |
| 20 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 対象者が遠慮せずなんでも話せるような関係を築ける様、各職員が意識し行動を共にすることで関係を築いています。 | | |
| 21 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 対象者との連絡を密に行い、現在や今後の事を話し合っています。また、月に一度、「ふれあい通信」というものを発送し、現在の状況などを把握してもらえるように努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | 11 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 大切にされていたものや写真をみて昔の事を思い起こせるように会話をしたり、関係者の方にお知らせを発送したり対話を行い現況を伝え、関係継続に努めています。 | | |
| 23 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | レクリエーションを皆で行いコミュニケーションが取れるようにしています。利用者同士のトラブルが発生した場合は職員が間に入り迅速に対処しています。 | | |
| 24 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 利用が終了された方との関係は今の所ありませんが、必要に応じて支援していきたいです。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 25 | 12 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 対象者の希望・意向などを定期的にお聞きし、実現出来るようミーティング等で話し合っています。 | | |
| 26 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 利用者、関係者から情報を得て、アセスメントシートを作成し、生活歴・趣味・趣向を把握できるよう努めています。 | | |
| 27 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 各職員への意識徹底を行い、心身状態で少しでもおかしいと思うところや心身の現況を職員同士での報告・連絡・相談にて対応しています。 | | |
| 28 | 13 | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々のモニタリングにて課題や目標を考え、生活上の為、利用者・関係者と話し合っ介護計画を作成しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 詳細な介護記録への心掛を職員に意識させ、申し送り等で情報を共有し実践、それらを踏まえ、会議などで介護計画の見直しなどを検討している。 | | |
| 30 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 利用者・関係者からの状況・要望に対して各職員が感じた・思ったことを発言し、話し合い、より良いサービスの提供に努めています。 | | |
| 31 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 近所に市場や公園があるので散歩を行っています。近隣の方々との会話や挨拶をおこなう機会を増やせるよう支援しています。 | | |
| 32 | 14 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時、かかりつけ医が継続受診可能となるように支援しています。また受診の際、職員が同行し、受診後に関係者の方へ報告する場合もあります。 | | |
| 33 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 医療連携先の看護師と24時間体制で連絡を取れるようにしています。 | | |
| 34 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時に主治医から情報提供を行って頂き、入院中には入院先に行き病院側から状況報告をしていただいて、関係者と情報を共有して対策を講じています。 | | |
| 35 | 15 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 事前に関係者の意向を伺い文章にして支援を行っています。重度化・終末期になった場合、関係者と話し合い方針を決定しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 36 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 研修にて急変時の対応を学び、会議にて対象者への対応を確認しています。 | | |
| 37 | 16 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的に避難訓練を行っています。災害時には近隣の方々に協力を要請できるよう努めています。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 38 | 17 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者への声掛けについて職員同士で話し合い、失礼のない様対応しています。 | | |
| 39 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者の意思を尊重し自己決定できるように働きかけています。 | | |
| 40 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者の意思や希望を優先し、満足して頂ける様支援しています。 | | |
| 41 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 利用者に関心を聞き、嗜好にあわせられるよう支援しています。 | | |
| 42 | 18 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 準備に関しては、衛生面を考慮し職員のみで行っています。対象者の好みに合わせた食事提供を出来る範囲内で行っています。片付けには職員と一緒に参加して楽しんで頂ける様努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事、水分摂取量の記録をつけ、利用者一人ひとりの状態に合わせた支援を行っています。 | | |
| 44 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを声掛けにて行って頂いてます。御自身ですることが困難な方には、職員が支援しています。 | | |
| 45 | 19 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄になかなか行かない方は職員が排泄パターンをそれぞれ理解しているので定期的に声掛けを行う等して出来るだけ義自身の意思で排泄に行っていたくようにしています。 | | |
| 46 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 担当医師と職員の連携がちゃんととれていまずので必要に応じて薬を処方していただいたり職員が体調を考え食事を変えたり腹部マッサージをして便を促したり等の体制をとっています。 | | |
| 47 | 20 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 御本人に入浴に対してどんな思いがあるのかを職員全員が把握しており、その方にあった一番いい入浴時間や曜日を考え出来るだけその方が一番リラックス出来る様心掛けています。 | | |
| 48 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一日を通して皆様がどんな体調か、昨夜はどれくらい睡眠時間がとれているか等を把握し眠れない方がいれば職員がお話し相手になり何か不安な事などがあればじっくり聞き、出来るだけ安心して就寝して頂ける様心掛けています。 | | |
| 49 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | お薬の管理は必ず職員全員が理解できるようにミーティングでの話し合いを徹底し、薬を出す時には2人体制で確認をし飲んで頂く前にも声だし確認を取るなど誤薬が無い様しています。また、ご家族の方にもお薬手帳と管理してあるファイルを見て頂く等して理解と安全に気を付けています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 食事の後片付けや洗濯物たたみ等、大半の方が進んでされるので、その方に応じた出来る事をしていただいています。そうする事によって施設での役割を見出されたり、他の方との会話が増え、普通の生活が成り立ってきていると思います。 | | |
| 51 | 2.1 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 定期的に行事計画を作って出掛けています。普段職員と入居者様との会話で皆様それぞれがどんな事をしたいか、どこに行きたいか等を聞いて、出来るだけそれに応じた出先を決めます。また遠方などになる場合は御家族の方や行先の方と連携し出来るだけ皆様に安全で快適なお出掛けになるよう支援しています。 | | |
| 52 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご自身にお金を持って頂き、支払時にもご自身で払って頂くようにしています。そうする事によって楽しんでいただいていますし、日常生活を自分でも送れているとゆう自信にもつながってくると思います。 | | |
| 53 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話をかけたいとゆう希望があれば事前に話されたい相手の許可を取り職員付添いの元対応しています。手紙を出したいとゆう希望があれば書いて頂き職員がお預かりし、責任を持って投函するようにしています。 | | |
| 54 | 2.2 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間は常に清潔を徹底し生活をされている方に不快な思いをさせないように心掛けています。天気の良い暖かい日には窓を開け季節感を肌で感じて過ごして頂ける様しています。 | | |
| 55 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 毎日の生活を見ながら定期的にテーブルやソファの配置などを変え誰がどんな場所が好みか、またどなたと会話が楽しめているのか等を考え工夫しています。それにより入居された方々が少しでも毎日を充実して頂けたらと職員全員で心掛けています。 | | |
| 56 | 2.3 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は入居時に御家族の方を交えて御本人が一番合った居住空間にできるよう心掛けています。またその方の趣味なども考え必要な物は購入し定期的に配置換え等も実行し快適な生活空間を心掛けています。 | | |
| 57 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | それぞれの能力に応じ出来る事や出来ない事、好き嫌いを職員全員が把握しわかる事はもっとわかりやすく出来る事はもっとより楽しんで頂ける様一緒に毎日を楽しめるようにしています。 | | |